

レスリング

◆全日本選抜選手権

山本125キ連続覇

世界代表懸けPOへ

レスリングの世界選手権(9月・カザフスタン)代表選考会を兼ねた全日本選抜選手権第2日は14日、東京・駒沢体育館で行われ、男子フリースタイル86キ級で高谷惣亮(ALSOK)が昨年の全日本選手権に続いて制して日本協会の選考基準を満たし、代表入りを決めた。

フリー125キ級は山本泰輝(自衛隊、飛龍高出)が2年連続3度目の優勝を飾った。山本は世界選手権代表を懸けて、7月6日に全日本選手権覇者との

プレーオフに臨む。

女子76キ級で昨年の

世界選手権3位の皆川

博恵(クリナップ)が

1次リーグで敗れた17

歳の鏡優翔(東京・帝

京高)に決勝で雪辱し、

男子でフリー97キ級の

赤熊猶弥、グレコロー

マンスタイル87キ級の

角雅人(以上自衛隊)

と97キ級の奈良勇太

(警視庁)とともに代

表入り。

女子62キ級で昨年の

世界選手権銀メダルの

川井友香子(空手館大)

や男子のフリー57キ級

で昨年の世界3位の高

橋侑希(ALSOK)

は2試合を勝ち、15日

の決勝に進んだ。フリー

74キ級で昨年の世界

選手権代表の藤波勇飛

(ジャパンビバレッジ)

は準決勝で奥井真生

(自衛隊)に敗れた。

一番練習してきた

山本泰輝(男子フリ

1スタイル125キ級だ。今までより自信を優勝)の話 重量級の持つことができたの選手の中でも一番練習で、これをとんとん続けていきたい。